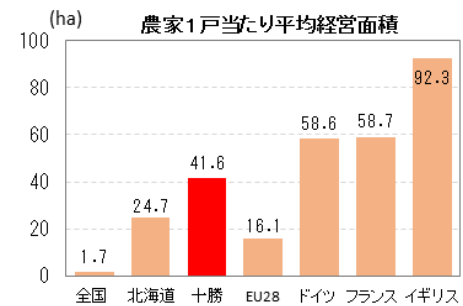


□ 地域産業の現状

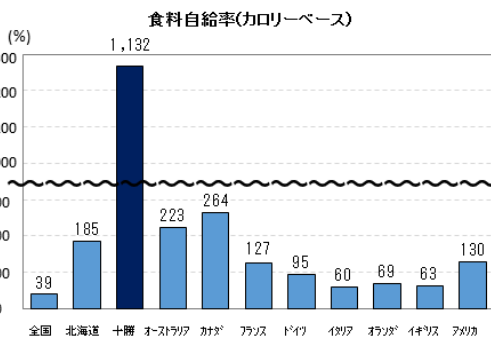
(1) 十勝の農林水産業の現状

- 約26万haの耕地面積
○年間2,000時間を超える日照時間
○EU農業圏水準の1戸当り平均耕地面積
○生産性の高い土地利用型農業
○十勝管内農業産出額は約3,320億円
○約1,132%の圧倒的な食料自給率
○総面積の約64%を占める森林面積
○平成29年度漁獲高は約58億円



(2) 食・農林漁業関連産業の現状

- 製造品出荷額等に占める食料品製造業の割合は68.4%
○観光入込客数は増加傾向、北海道内シェアは横ばい
○道東自動車道や増築したとちまち帯広空港などの活用
○成長分野である環境・健康・福祉・医療等の振興



(3) 試験研究機関・研究開発等の現状

- 大学や公設・民間研究機関、企業等の集積
○中核的産業支援機構による地域産業振興の支援
○研究開発や多様な主体の連携・協働による取組

□ 地域産業政策の必要性

- 自らの意思と責任に基づき、地域産業の振興を通して発展基盤を強化する必要がある
○経済のグローバル化の進展、世界的な食料需給環境の変化、食の安全・安心に対する関心の高まりにより、地球規模での環境問題等に対応する必要がある
○地域特性や優位性等の強みを活かし、農林漁業・関連産業を中心に、産業間連携強化の必要がある
○付加価値の高い商品開発や、起業化等による域外市場産業の育成等を通して、産業振興や雇用の拡大をはかる必要がある
○十勝全体がスクラムを組み共通の戦略構築と合意形成をはかり、事業を展開する必要がある

□ 「フードバレーとまち」の展開方策（3つの柱・19の施策）

Table with 3 columns: 農林漁業を成長産業にする, 食の価値を創出する, 十勝の魅力を売り込む. It lists 19 strategies across these categories.

□ 「フードバレーとまち」の基本方向

- 食や農林漁業に関する産業集積は、比較優位性があり競争力のある分野
○農林漁業と生産・加工・販売等の連携による十勝型フードシステム形成を推進
○十勝の経済成長戦略として推進しアジアの食と農林漁業の集積拠点を目指す
○フードバレーとまちの旗印のもとに、自主・自立の地域経済の確立を目指す

□ 推進体制

- 十勝管内の42関係団体等で構成する「フードバレーとまち推進協議会」
○とちまち財団と連携し、生産者・企業・団体等の総合窓口として、プラットフォーム機能、コーディネーター機能を発揮
○各町村は生産者や企業等の相談や、協議会構成団体と連携して対応
○協議会の構成団体・機関等が連携し、食と農林漁業に関する取り組みを進めるための環境づくりを推進

施策の取り組みの方向性



フードバレーとまち

1 フードバレーとまちの施策展開（戦略プラン）について

- 推進プランの施策の柱立てに基づき、施策の取り組みの方向性を示すもの
○定住自立圏共生ビジョンに盛り込まれた関連事業や市町村が連携した取り組みを展開
○協議会のプラットフォーム機能を活用し、生産者や企業等との多様な結びつきにより推進

2 施策の取り組みの方向性

Main content area with 19 strategy cards (e.g., 戦略1 生産振興, 戦略6 製品・研究開発, 戦略13 十勝の魅力を発信) and a large red arrow graphic pointing to the right.

3 関係団体・機関の取り組み

- 農林漁業団体の主な取り組み
●十勝地区農業協同組合長会
●十勝管内漁業協同組合長会及び十勝地区森林組合振興会
金融機関の主な取り組み
●帯広銀行協会及び日本政策金融公庫帯広支店
●帯広信用金庫
関係団体の主な取り組み
●帯広商工会議所
●北海道中小企業家同友会とちまち支部
●北海道十勝管内商工会連合会
●十勝観光連盟、帯広物産協会

大学・試験研究機関の主な取り組み

- 帯広畜産大学
●とちまち財団
●農研機構北海道農業研究センター
●家畜改良センター十勝牧場
●十勝農業試験場
●畜産試験場

●独立行政法人国際協力機構北海道センター(帯広) (通称: JICA北海道(帯広))

- 開発途上国からの研修員受入や青年海外協力隊員の派遣などの技術協力、無償資金協力、有償資金協力(円借款)などの国際協力事業
行政機関の主な取り組み
●帯広開発建設部
●十勝総合振興局

4 フードバレーとまちの施策の進め方

- 協議会のプラットフォーム・コーディネーター機能の発揮
○協議会の構成メンバーの連携
○各市町村独自の取り組みの実施
○テーマごとに連携した取り組みの実施
○国際戦略総合特区などの国の支援制度等の活用